

## 医師会親睦囲碁大会の報告

～医師会本因坊の復活に向けて～

理事 村田 謙二



前列左より知念義和先生、仲本政雄先生、大見洋二先生、下地武義先生、宮里達也先生、筆者（村田謙二）、後列左より平良厚徳氏、照屋勉先生、知念信雄先生、仲村永徳先生、嶺井進先生、山内昌紀先生、源河茂先生、平良恵貴氏、岸本幸治先生

3月18日那覇市医師会館において平成18年度県医師会親睦囲碁大会が開催されました。参加者は初段から八段格までの総勢20名、午前10時より6時間余の熱戦が繰り広げられた結果、勝率第1位の大見洋二五段（那覇市医師会：大見医院）、勝数第1位の下地武義五段（公務員医師会：県立南部医療センター・こども医療センター）、最多試合数賞（最も楽しんだで賞）仲本政雄初段（南部地区医師会：博愛病院）、宮里達也三段（公務員医師会：南部福祉保健所、中央保健所）が決定し家路に着きました。

ところで県医師会には伝統ある沖縄県医師会本因坊の称号がありました。かつては年一回そのための碁会がありました。それがいつの間にか消滅してしまい、数年前まであった囲碁月例会も集まりが悪く2ヶ月に一回となり、それも自然消滅してしまいました。

囲碁人口が減った訳ではないのです。世話する人がなくなったのです。現に南部地区医師会では会長の永山孝先生が囲碁愛好者であることもあって、毎年成人の日に親睦囲碁大会が催され十数名の参加者でにぎわっています。今年その大会の席上もっと碁を打つ機会を増やしたいとの気持ちで全員が一致しました。幸いにも現医師会執行部には常任理事の嶺井先生、大山先生と私の三人の囲碁好きがいるので、三日会（さんにち会）なるものを立ち上げました。この会は偶数月の第3日曜日に新都心にある喫茶店「ベルヴィ」（Tel.862-7966）で碁会を催しています。

囲碁は別名「手談」とも言われます。ひとたび盤を向かい合って対局すれば初めての人とでも十年の知己のごとく親しくなれることが、この名の由来です。現在三日会のメンバーは全員

が有段者ですが、級位者の方も大歓迎いたします。私の周りにも有名な漫画「ヒカルの碁」を読んで碁を覚えたいと感じた30代、40代の方が何人かいます。そのような方々にも門戸を開こうと考えています。碁を覚えることは人生を豊かにします。読者の方で碁を始めたいと

思われる方は是非私にご一報を。

今回の大会は沖医商事の強力なバックアップで実現しました。裏方として支えて下さった事務局の方々にこの紙面を借りてお礼申し上げます。この会が発展して「県医師会本因坊戦」になることを切に希望してやみません。

## 会場風景

